



有効活用が期待される観光船「かもめ」(昨年のオランダ島まつり)



黒沢一成議員

町民の船

町民からの要望に応えるか

公益上必要あれば活用認める

質問 観光船「かもめ」を「町民の船(仮称)」として町民を対象とした各種事業に活用する考えのようだが具体的な内容は。町民から要望があればそれに応えるのか。また、町外者を対象とした活用は。

沼崎町長 町内の小・中・高等学校の校長会議の中で、総合的な学習時間や学校行

事などでの積極的な活用について説明している。また、役場内部でも説明会を開催し、例えば教育委員会主催の講座やセミナーでの活用、老人クラブなど福祉関係団体での活用、山田の海を守る会および町民を対象とした山田湾内めぐりなど、活用策を検討中である。
町民からの要望に対して

町の考えを聞く

は、公益上特に必要があり町の業務に支障がない場合には、公共的団体などに活用を認める方向である。ま

た、町外者に対しては、原則として個人による申請の受け付けはできないが、町内公共的団体などの主催あるいは共催する事業であれば、活用は可能であると考

えている。
新たな事業なので内部規定を設置して運営していきたい。町の活性化につながることを期待している。

庁舎案内 組織再編に合わせ検討

庁舎内表示を分かりやすく

質問 現状の庁舎内部の表示は、外来者にとって分かりにくく、不親切である。

民生活課の窓口担当職員が随時案内するようにして対応している。

例えば、床に色分けしたラインを引き、ラインに沿って歩けば目的とする課に行ける表示や、入口のガラス戸に大まかな案内を表示するなどして分かりやすくしては。

なお、平成22年4月に組織の再編成による課の配置の変更が予定されているので、案内表示の見直しの際には、床表示なども含めて検討する。

沼崎町長 現在は、つり看板方式で課名や担当名を表示し、来庁者に分かりやすいよう工夫をしている。また、正面玄関近くでは、住

質問 迷っているような人を見かけたら、職員が教えてあげる姿勢が大事では。
企画財政課長 職員も積極的に声を掛けるようにしている。